

都市再生整備計画事業の事後評価について

1. 都市再生整備計画事業の概要
2. 都市再生整備計画（成田市居住誘導地区）の内容
3. 都市再生整備計画（成田市居住誘導地区）の事後評価

1. 都市再生整備計画事業の概要

■ 目的

- ・ 地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした個性あふれるまちづくり
- ・ 全国の都市の再生を効率的に推進
 - ▶ 地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図る

■ 概要

都市再生特別措置法

H16年度 「まちづくり交付金」制度として創設
H22年度～ 社会資本整備総合交付金に統合
都市再生整備計画事業として位置付け

都市再生整備 計画の作成

まちづくりの目標
実施する各種事業等

交付金の交付

年度ごとに交付
概ね3～5年
国費率概ね4割

事後評価

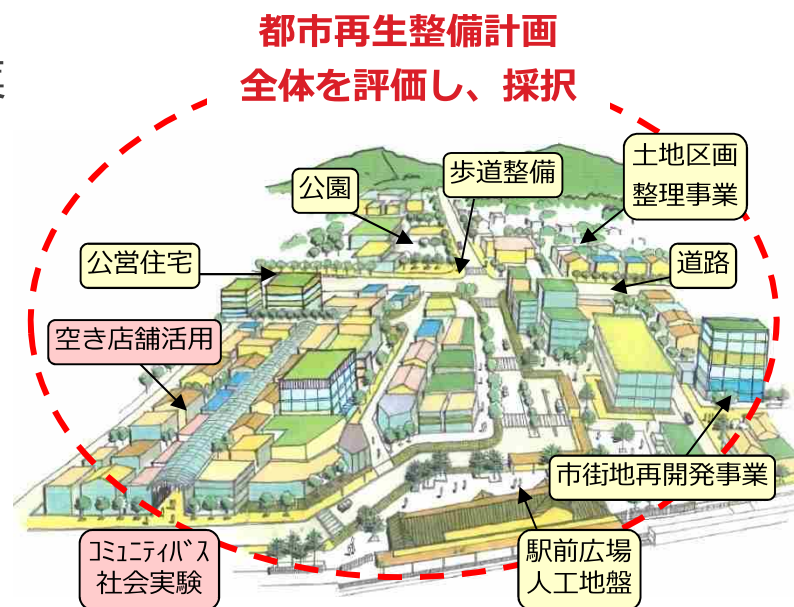
交付期間終了時実施
結果を公表

1. 都市再生整備計画事業の概要

■ 交付対象

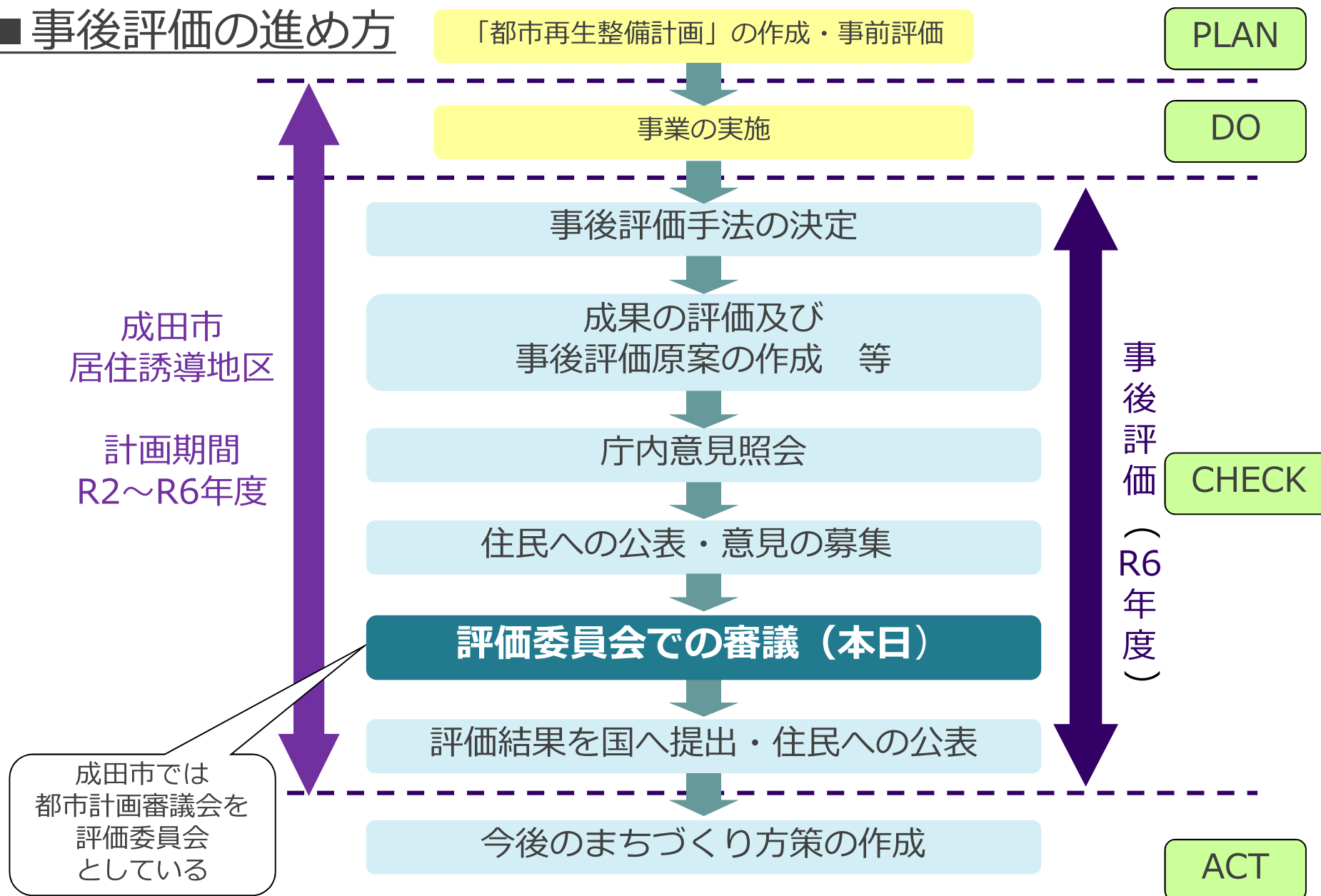
都市再生整備計画に位置付けられたまちづくりに必要な幅広い施設等を対象

- 道路、公園、下水道、河川、多目的広場、修景施設、地域交流センター
土地区画整理事業、市街地再開発事業 等
- 地域優良賃貸住宅、公営住宅、住宅地区改良事業 等
- 市町村の提案に基づく事業
- 各種調査や社会実験等のソフト事業



1. 都市再生整備計画事業の概要

■ 事後評価の進め方

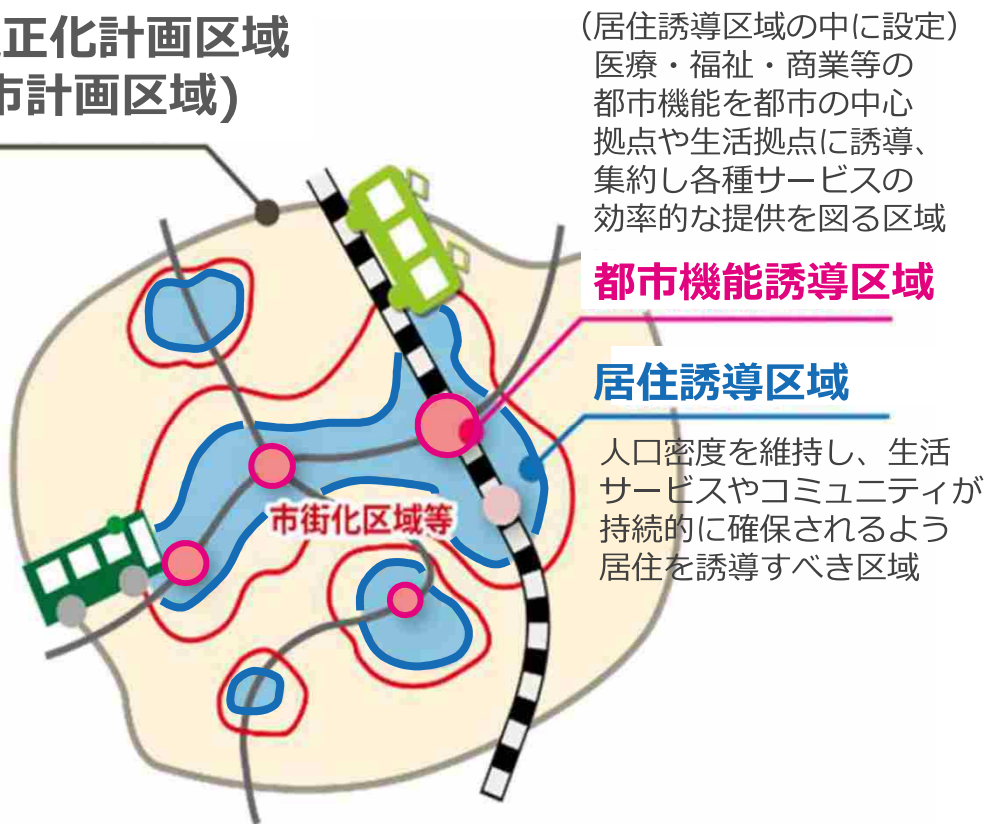


2. 都市再生整備計画(成田市居住誘導地区)の内容

■ 計画策定の経緯

成田市立地適正化計画 (H30.3月策定)

立地適正化計画区域
(=都市計画区域)



計画の実現に向けて

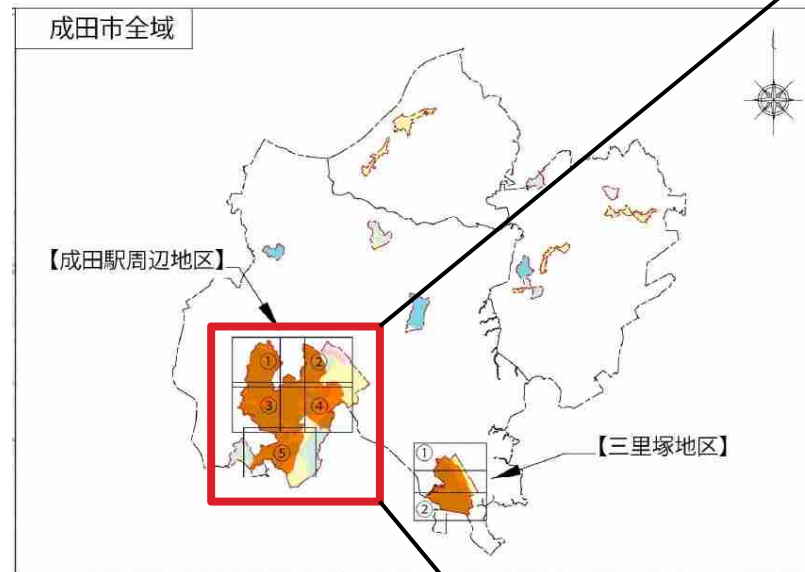
都市再生整備計画 の策定

関係各課で実施する
事業から、
居住誘導区域において
都市機能や居住環境の
向上に資する事業を
対象に計画を策定

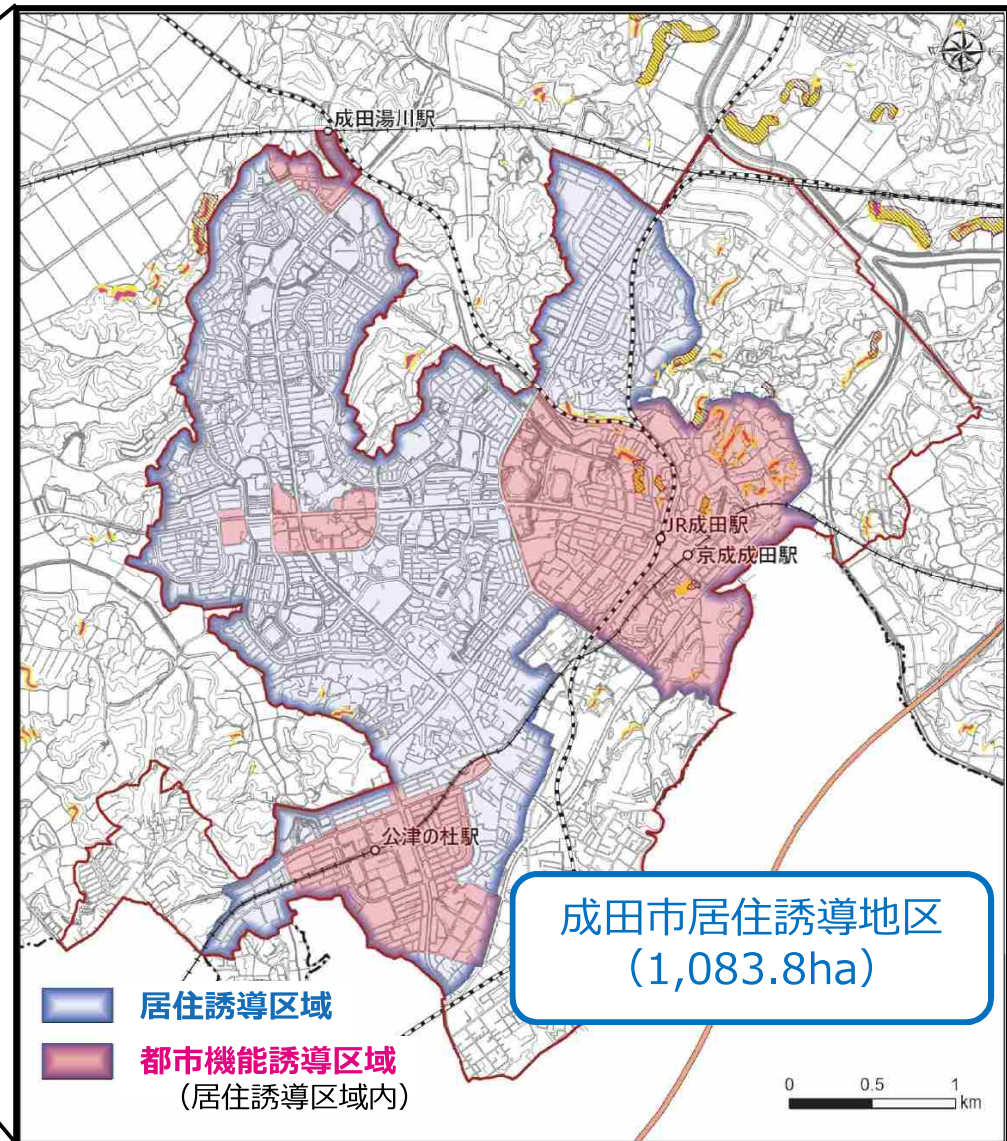
2. 都市再生整備計画(成田市居住誘導地区)の内容

■ 居住誘導区域の位置

◆ 全体図



【成田駅周辺地区】



2. 都市再生整備計画（成田市居住誘導地区）の内容

■ 目標と主要な事業

**生活利便性の高い、快適で持続可能なまちづくり
（～生涯を完結できるまち・NARITA～）**

① 道路や公園の整備により、安全で快適な住環境の形成を図る。

道路事業（自転車通行帯整備事業・歩道整備事業）

公園事業（公園遊具整備事業）

ファサード整備補助事業

② 市街地における都市機能の充実により、新たな居住を誘導する。

JR成田駅西口市有地活用推進事業

JR成田駅参道口駅前公衆便所洋式化事業

③ 充実した公共交通網の維持・確保に向けた取り組みを推進する。

道路事業（自転車通行帯整備事業）

地域公共交通計画策定事業

2. 都市再生整備計画(成田市居住誘導地区)の内容

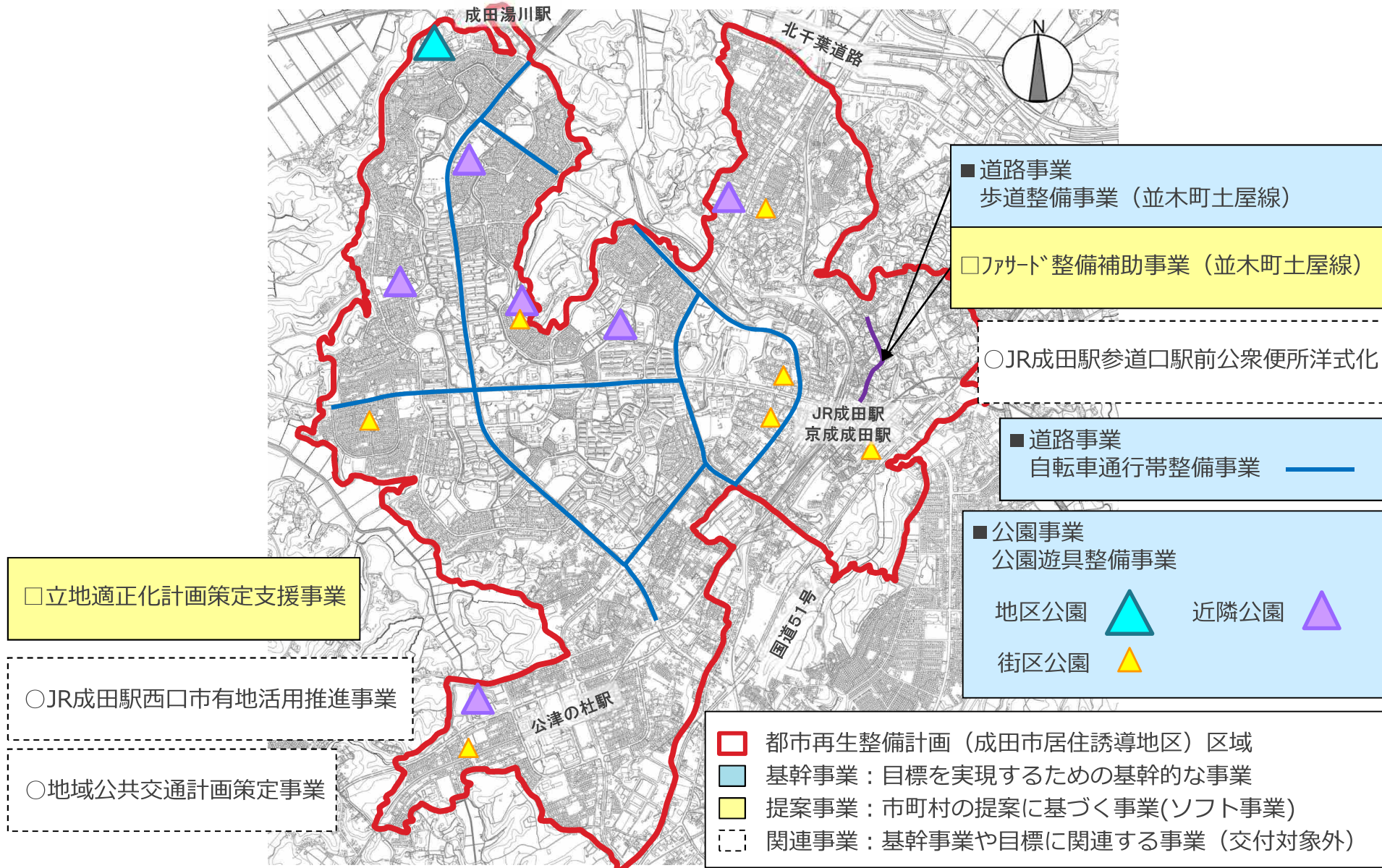
■ 各種事業の進捗

	R2	R3	R4	R5	R6	内 容
■ 道路事業 自転車通行帯整備事業	●				●	市道8路線で実施 整備延長22.3 k m
■ 公園事業 公園遊具整備事業	●				●	14公園で実施 遊具の撤去・設置
■ 道路事業 歩道整備事業				●	●	市道並木町土屋線の セットバック 延長10m
□ ファサード整備補助事業					●	上記事業実施後、 景観形成のため意匠の整備
□ 立地適正化計画策定支援事業			●			立地適正化計画の見直し
○ JR成田駅西口 市有地活用推進事業	●					関連事業（交付対象外） 事業期間：R2～R11年度
○ JR成田駅参道口駅前 公衆便所洋式化事業		●				関連事業（交付対象外） 事業期間：R3年度
○ 地域公共交通計画 策定事業	●	●				関連事業（交付対象外） 事業期間：R元～R3年度

2. 都市再生整備計画(成田市居住誘導地区)の内容

■実施事業 (全体)

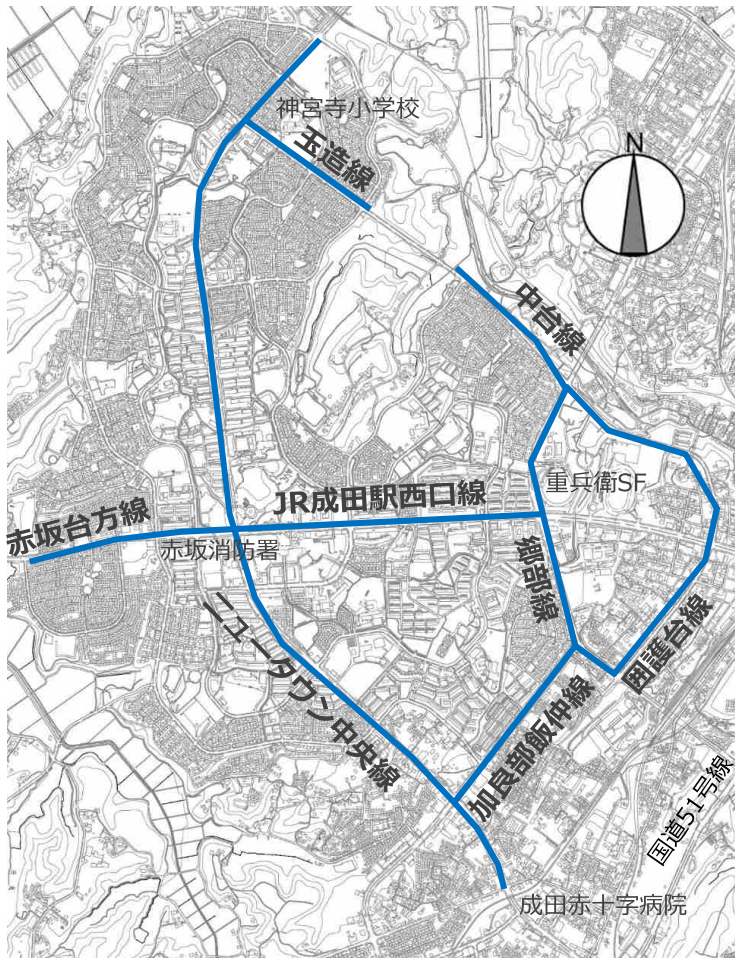
◆事業費299.7百万円◆国費137.6百万◆国費率45.9%



2. 都市再生整備計画(成田市居住誘導地区)の内容

■事業の成果 (道路)

自転車通行帯整備事業



«JR成田駅西口線»



«囲護台線»



«ニュータウン中央線»



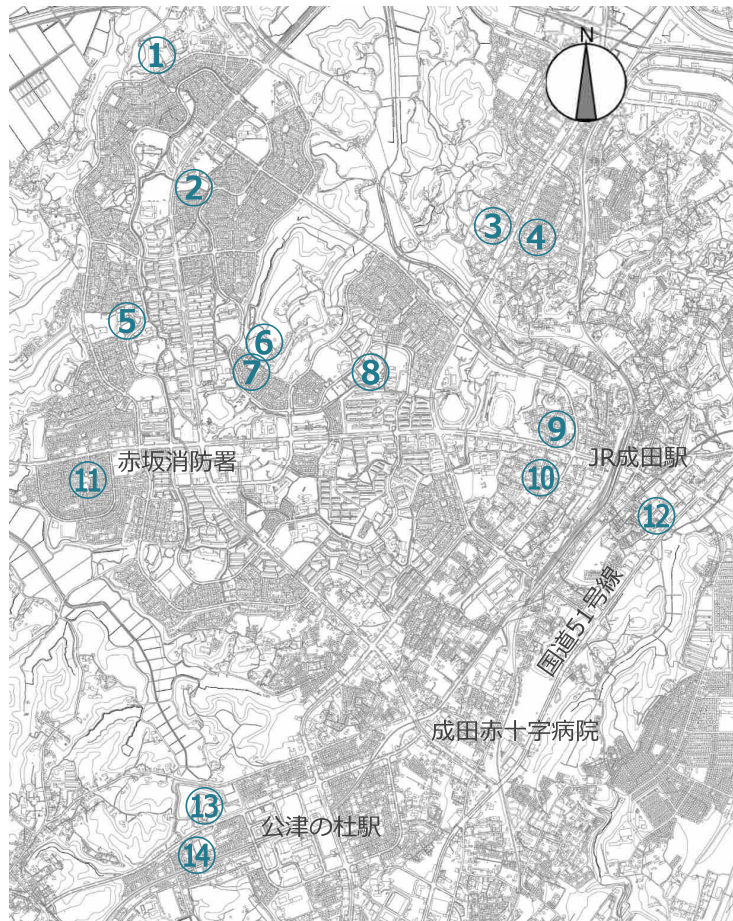
«加良部飯仲線»

◆事業費 101.3百万円 (国費率45.0%)

2. 都市再生整備計画(成田市居住誘導地区)の内容

■事業の成果 (公園)

公園遊具整備事業



- ①外小代地区公園
- ②神宮寺近隣公園
- ③浅間近隣公園
- ④南台街区公園
- ⑤引地近隣公園
- ⑥後谷津近隣公園
- ⑦船塚台街区公園
- ⑧松ノ下近隣公園
- ⑨北囲護台街区公園
- ⑩中囲護台街区公園
- ⑪武蔵街区公園
- ⑫花崎町街区公園
- ⑬公津の杜近隣公園
- ⑭山王街区公園



«⑬公津の杜近隣公園»



«⑪武蔵街区公園»



«④南台街区公園»



«⑨北囲護台街区公園»

◆事業費 137.9百万円 (国費率45.0%)

2. 都市再生整備計画(成田市居住誘導地区)の内容

■事業の成果 (道路)

歩道整備事業及びファサード整備補助事業 (並木町土屋線)



○歩道整備事業 (セットバック事業)

道路沿いの建物を道路境界から2mセットバックし、ゆとりのある歩行空間の確保を行う事業

○ファサード整備補助事業

セットバック後、一体的な景観形成のため建物正面の意匠の整備を行う事業



《施工前》



《施工後》



《施工前》



《施工後》

◆事業費 56.6百万円 (国費率50.0%)

3. 都市再生整備計画(成田市居住誘導地区)の事後評価

■ 目標を定量化する指標

具体的な成果の目標を示し、達成状況を分かりやすく評価するため、
「目標を定量化する指標」と「数値目標」を設定

目標を定量化する指標	指標設定の考え方	従前値	数値目標
指標 1 国際医療福祉大学学生の 市内居住割合 (%)	快適な住環境の形成や、都市機能の充実、公共交通網の維持・確保のための取り組みにより、学生の市内居住割合が増加していることを確認する。	37.4 % (R元年度)	41.0 % (R6年度)
指標 2 市民満足度 (%)	快適な住環境の形成や、都市機能の充実、公共交通網の維持・確保のための取り組みにより、市民の生活に対する満足度が上昇していることを確認する。	36.5 % (R元年度)	59.0 % (R6年度)
その他の 数値指標 1 計画区域内人口 (人)	快適な住環境の形成や、都市機能の充実、公共交通網の維持・確保のための取り組みにより、計画区域内の居住人口が増加していることを確認する。	65,636 人 (R元年度)	評価時追加 指標のため 目標値なし
その他の 数値指標 2 自転車通行帯整備箇所 における事故件数 (件)	自転車通行帯整備による、自転車に関わる事故件数が減少していることを確認する。	17 件 (R元年度)	評価時追加 指標のため 目標値なし

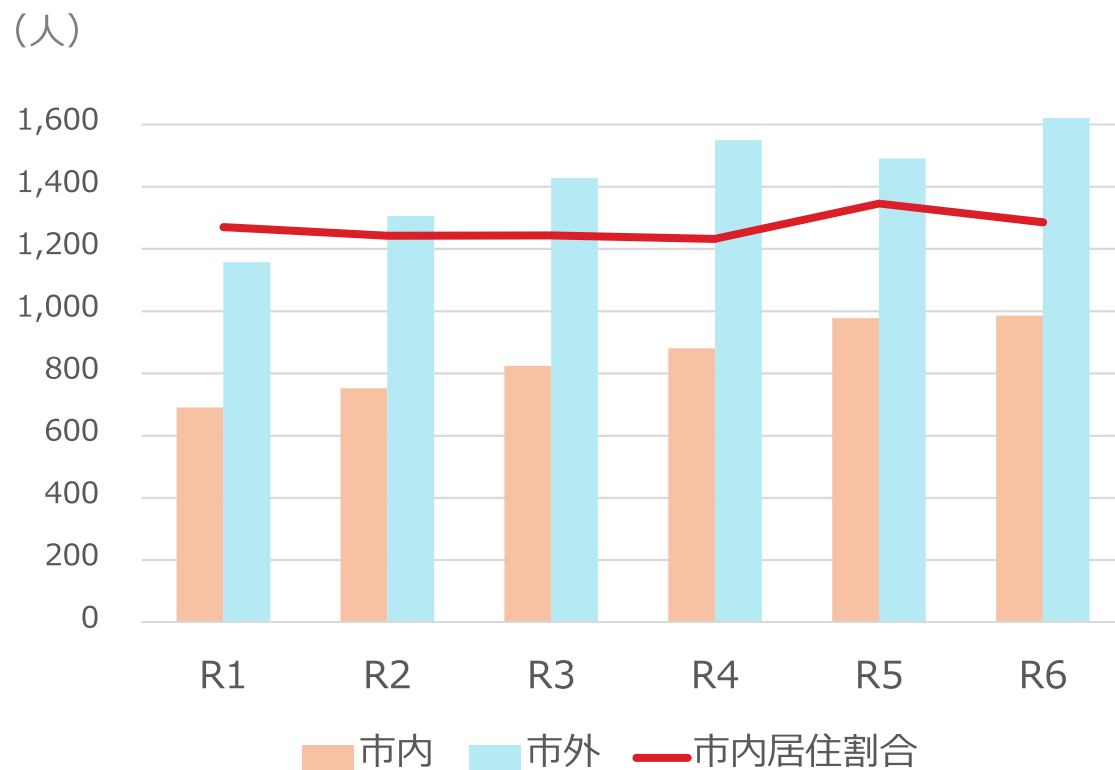
3. 都市再生整備計画(成田市居住誘導地区)の事後評価

■指標 1 国際医療福祉大学学生の市内居住割合

従前値 (R1)	目標値 (R6)	評価値 (R6)
37.4%	41.0%	37.8%



目標値達成
△



(%)

○所見

在学生は 758人増加しており、市内在住学生数は、295人増加している。従前値を上回り、居住数は着実に増加していることから、『△』とした。道路等のインフラ整備により、学生が選択する上で必要な住環境の維持・改善につながったと考える。

○調査方法

国際医療福祉大学（成田キャンパス）学生の居住地より市内居住割合を算出

○学生居住数

・ R1（従前値）

690人（市内）
1,157人（市外）

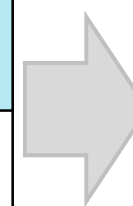
・ R6（評価時）

985人（市内） +295人
1,620人（市外） +463人

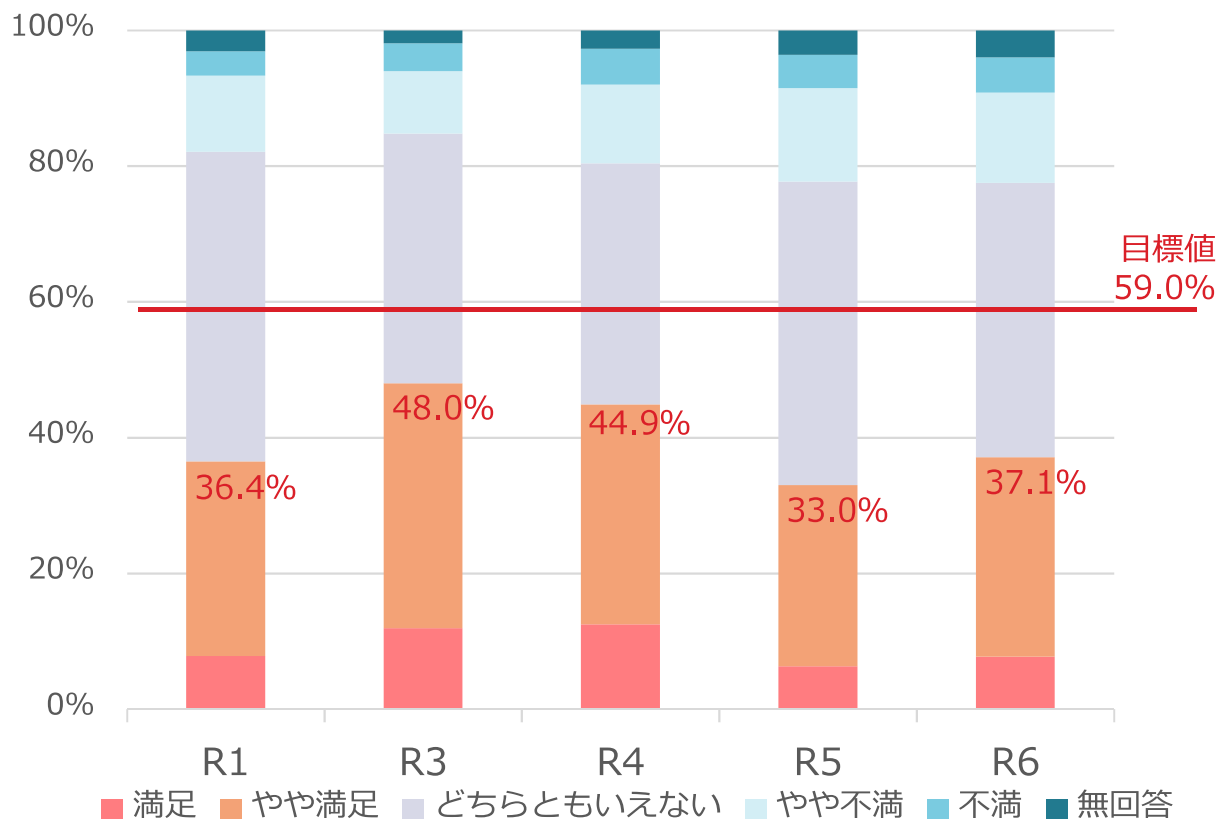
3. 都市再生整備計画(成田市居住誘導地区)の事後評価

■指標2 市民満足度

従前値 (R1)	目標値 (R6)	評価値 (R6)
36.5%	59.0%	37.1%



目標値達成
×



※R2については、コロナのため未実施

資料：市民満足度調査

○所見

従前値は上回ったものの、目標値を大きく下回ったため、『×』とした。
成田市全体を対象とした調査であり、本計画区域外の意見も反映されることが影響し、目標値の達成に至らなかったと考える。

○アンケート対象者

市内在住18歳以上の男女無作為 2,000人

○調査方法

以下3施策の「満足」+「やや満足」割合

・施策1

住みやすく快適な生活環境を整える

・施策2

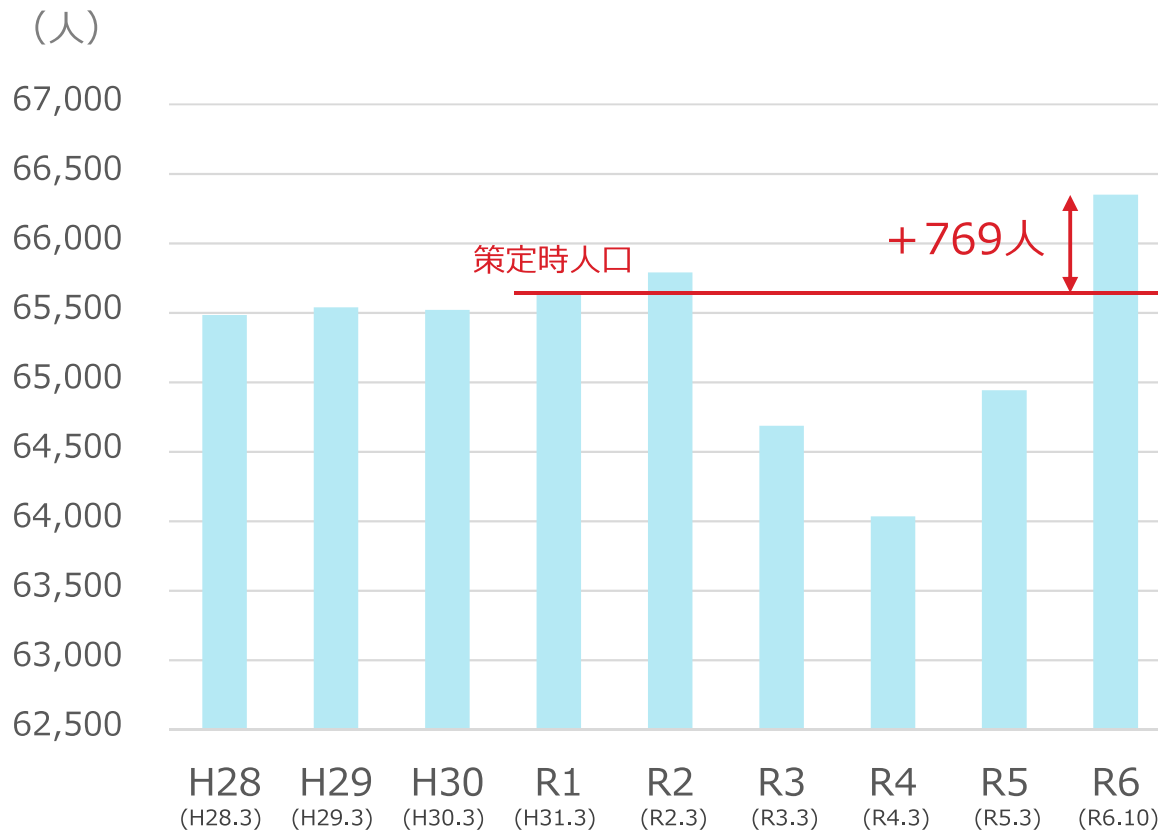
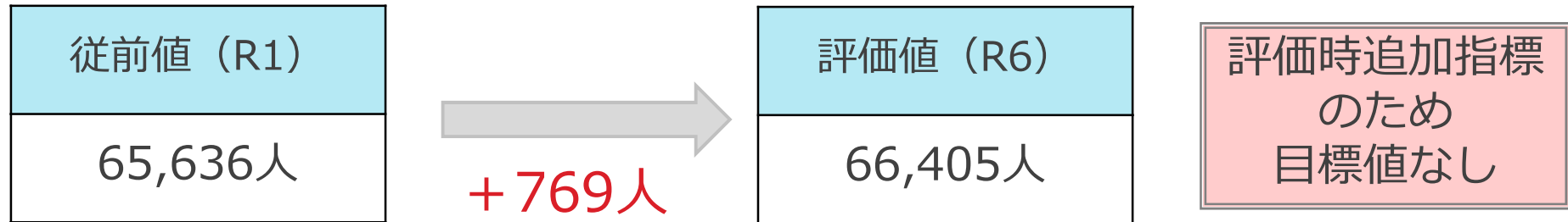
地域特性を生かした土地利用と快適な市街地形成を図る

・施策3

道路ネットワークと交通環境を整える

3. 都市再生整備計画(成田市居住誘導地区)の事後評価

■ その他の数値指標 1 計画区域内人口



○所見

コロナウイルスの影響があり、人口が一時減少しているが、従前値より769人増加していることは、評価できる。

自転車通行帯及び公園遊具の整備などの計画的なインフラ整備が安全・快適な住環境の維持改善につながり人口増加に寄与したと考える。

○調査方法

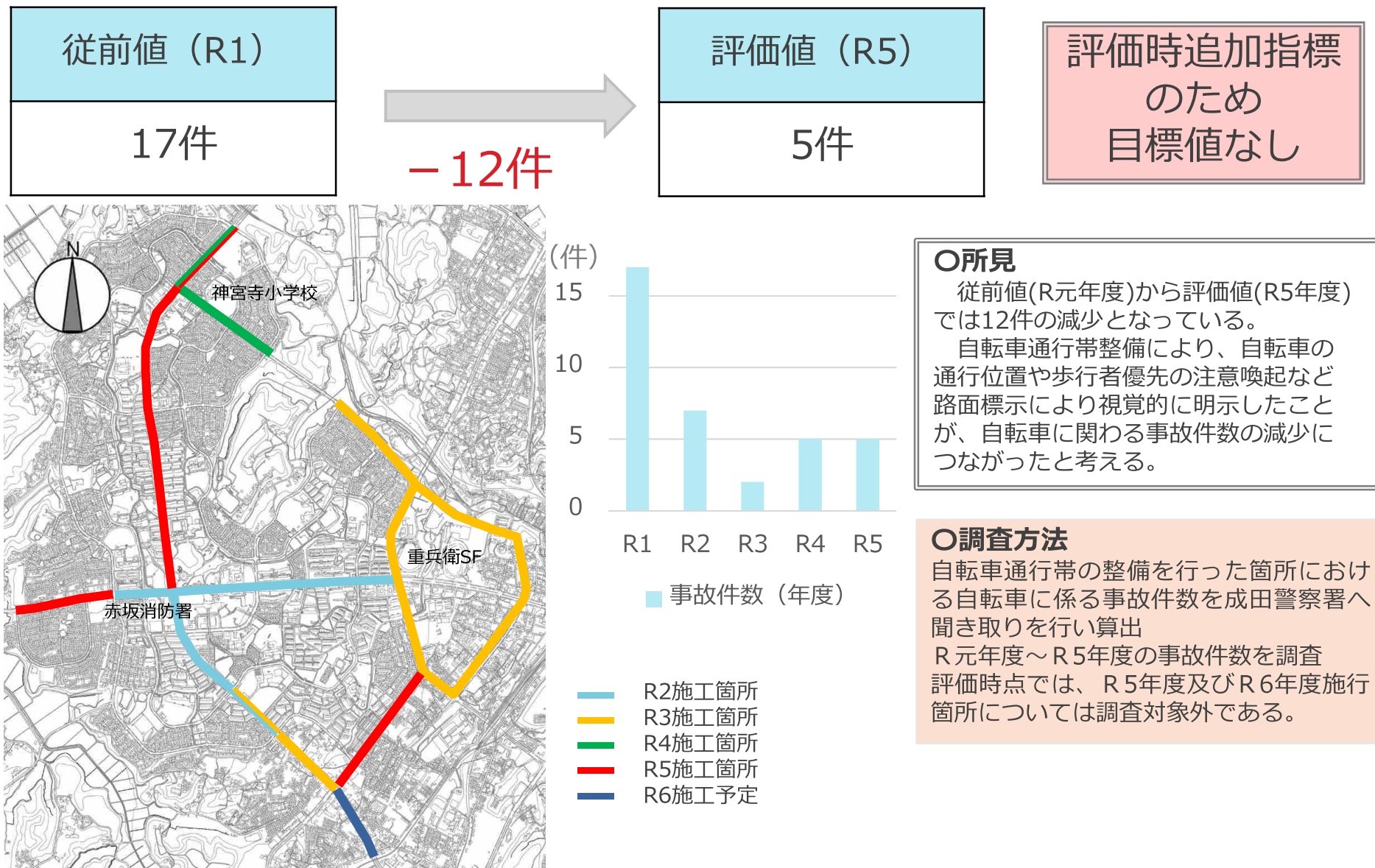
国民基本台帳法による計画区域内の人口を算出

※大字ごとの人口であり、計画区域は大字を境としていないため、区域内の人口として正確ではないが、指標になりうるとして使用した。

資料：住民基本台帳

3. 都市再生整備計画(成田市居住誘導地区)の事後評価

■ その他の数値指標 2 自転車通行帯整備箇所における事故件数



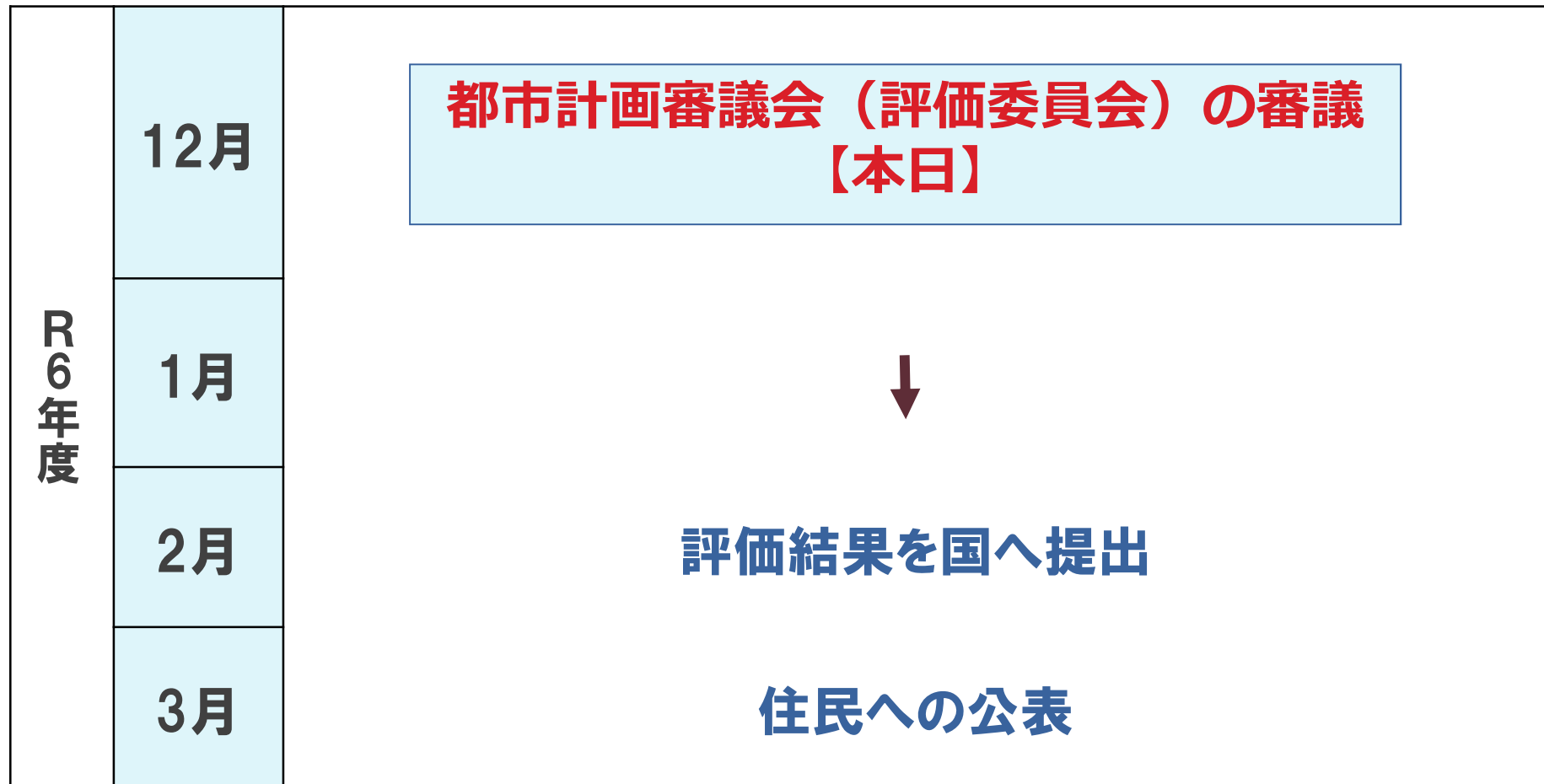
3. 都市再生整備計画(成田市居住誘導地区)の事後評価

■ 指標の達成状況 (まとめ)

目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	達成度	改善・維持の方針
指標 1 国際医療福祉大学学生の 市内居住割合 (%)	37.4 % (R元年度)	41.0 % (R 6 年度)	37.8 % (R 6 年度)	△	- 引き続き、計画的な生活インフラ等の整備を行う。 - 大学の最寄駅である京成公津の杜駅において、にぎわいの創出・まちの魅力向上に向けた整備を促進する。
指標 2 市民満足度 (%)	36.5 % (R元年度)	59.0 % (R 6 年度)	37.1 % (R 6 年度)	×	- 事業区域に絞ったアンケート調査を行い、適切な評価を行う。 - 地域公共交通や立地適正化計画の定期的な見直し、検証を行う。
その他の 数値指標 1 計画区域内人口 (人)	65,636 人 (R元年度)	評価時追加 指標のため 目標値なし	66,405 人 (R 6 年度)	-	- 公共施設等の高度利用等による新たな居住環境の整備及び民間施設等の誘致による賑わいの場の創出を図る。 - 引き続き、計画的な公園遊具整備を行い、子育て世代を中心とした居住の定着を図る。
その他の 数値指標 2 自転車通行帯整備箇所における事故件数 (件)	17 件 (R元年度)	評価時追加 指標のため 目標値なし	5 件 (R 5 年度)	-	- 引き続き、成田市自転車ネットワーク計画に基づいた計画的な整備を行う。 - 当該計画の見直し等も適宜行い、効率的で効果的な整備を検討する。

3. 都市再生整備計画（成田市居住誘導地区）の事後評価

■ 今後のスケジュール



4. 今後のまちづくり方策の検討

■ まちの課題の変化

① 道路や公園の整備により、安全で快適な住環境の形成を図る。

道路事業（自転車通行帯整備事業）
（歩道整備事業）
公園事業（公園遊具整備事業）
ファサード整備補助事業

② 市街地における都市機能の充実により、新たな居住を誘導する。

JR成田駅参道口駅前公衆便所洋式化事業

③ 充実した公共交通網の維持・確保に向けた取り組みを推進する。

道路事業（自転車通行帯整備事業）
地域公共交通計画策定事業

今後の課題

- 魅力あるまちづくりを推進するため、引き続き計画的に道路・公園等の整備を進める必要がある。
- 成田空港の更なる機能強化に伴う新たな居住の誘導に向け、都市機能の充実を図る。
- 高齢化の進行に加え外国人居住が増加しており、幅広い世代の利用や多文化共生を図ることを見据えたまちづくりが必要である。

4. 今後のまちづくり方策の検討

■ 今後のまちづくりの方策と予定事業

- ① **成田国際空港、成田山新勝寺をはじめとした歴史的観光資源及び地域資源を生かし、賑わい創出や魅力の向上を図る。**

新規 自転車駐車場整備事業及び市有地活用推進事業（JR成田駅西口）
新規 駅前広場整備事業（京成公津の杜駅）
道路事業（歩道整備事業）、ファサード整備補助事業

- ② **駅周辺の整備、都市機能の維持・充実により、新たな人口定着を図るとともに、誰もが居心地の良いと感じられる空間の創出を図る。**

新規 自転車駐車場整備事業及び市有地活用推進事業（JR成田駅西口）
新規 駅前広場整備事業（京成公津の杜駅）
道路事業（自転車通行帯整備事業）、公園事業（公園遊具整備事業）
立地適正化計画策定業務

- ③ **公園・自転車通行帯の整備を引き続き行い、子育てがしやすく、誰もが安全安心に暮らせる住環境の形成を図る。**

道路事業（自転車通行帯整備事業）、公園事業（公園遊具整備事業）